

平成 27 年 11 月 25 日

調布市長
長友 貴樹 様

飛田給駅西側踏切拡幅対策協議会
会長 板橋 榮次

飛田給駅西側踏切拡幅の要望書

日頃より地域のまちづくりにご協力頂きありがとうございます。

飛田給駅西側踏切は 2001 年味の素スタジアム開設に合せて駅舎・北側道路が整備された当初から地域住民により歩行者や自転車通行の危険性が指摘され、安全確保のための踏切拡幅が課題となっていました。地域住民から整備主体者である市に拡幅を要望しましたが、駅南側の道路拡幅が済んでおらず、踏切だけ広げるのは危険であるため、南側の整備まで踏切拡幅は待つて欲しい、と市が将来拡幅を約束した経緯がありました。

来年度中には飛田給駅南側広場と道路が整備される予定です。これまで諸団体から市に拡幅の要望をしましたが、踏切拡幅の計画はなく、約束された南側道路整備に合わせての踏切拡幅の機会を逃すと拡幅は極めて難しくなることから、地域住民の安全、特に子供達の安全を守るため踏切拡幅を実現し、高齢者や障害を持った方も含め、誰にとっても安心安全なまちづくりを進めてもらうために署名活動を 10 月 25 日から開始しました。地域の皆さんの協力により約 1 ヶ月間で住民・駅利用者・趣旨に賛同頂いた方から 6, 588 名の署名を頂きました。現在も活動は継続中でさらにご理解・ご支援の輪が広がっています。

この北側道路完成後、品川通りから国道 20 号への抜け道として踏切の車の交通量は増える一方、地域の重要な生活道路であるうえ、通学路にも指定されているにもかかわらず、歩道部分が狭いため、相互に行き交うのもやっとなで、避けるために自転車が踏切内を突然斜行したり、また歩行者が線路内に退避したり、よけるために脱輪して転倒する方もでています。また渡り切れなため待ち続ける高齢者や車いすの方もおり、いつ重大事故が起こってもおかしくない状況になっています。平成 28 年度の南側道路完成後は車の交通量が更に増えることは確実に一層危険な踏切になることは目に見えています。

今回の署名活動ではサッカーの試合で来られた地域外の多くの方々も危険性に賛同頂いております。味の素スタジアムや周辺施設は 2019 年ラグビーのワールドカップや 2020 年オリンピック・パラリンピック競技の会場に決定し、世界各国から観客の来訪が見込まれ、恥ずかしい状況をさらすことにもなり、踏切拡幅を是が非でも実現すべきと考えております。

多くの地域住民が踏切拡幅と安心安全なまちづくりを望んでおり、調布市におかれましては東京都・国・京王電鉄と連携して重大事故にもつながる危険な飛田給駅西側踏切を拡幅することを要望致します。

※飛田給駅西側踏切拡幅対策協議会構成団体

飛田給小学校地区協議会、飛田給自治会、西部飛田給自治会、西武自治会、鶴島自治会、飛田給第三自治会、飛田給小学校 PTA、健全育成推進飛田給地区委員会、飛田給駅南口商店会、調布地区防犯協会飛田給支部・上石原支部、調布市交通安全協会第一支部、飛田給福祉のまちあるき実行委員会、CIL ちょうふ